

パンフレット

VIAVI

OneAdvisor 800 ファイバー

光ファイバーネットワークの敷設、ターンアップ、および
トラブルシューティングソリューション

大量のデータを伝送する 5G ネットワーク、通信ネットワークで接続されたスマートシティ、継続的な FTTH サービスの展開、およびデータセンターの急増により、信頼性が高く将来も使い続けられる光ファイバーネットワークに対する業界の需要は高まり続けると考えられます。

One Advisor 800 はパフォーマンス、効率、および汎用性を組み合わせたテストソリューションであり、要求の厳しいファイバージョブに最適な光ファイバーテストソリューションになっています。

その直感的で最新のユーザーインターフェイスは大型のタッチスクリーンと高度機能および手順ガイドで構成されており、フィールド作業者は、光ネットワークアーキテクチャを迅速かつ確実に設置、ターンアップ、トラブルシューティングすることができます。

主なテスト機能は次のとおりです。

- 光コネクターの検査
- OTDR と PON-OTDR
- FiberComplete PRO™ 双方向 IL/ORL および OTDR
- DWDM OTDR
- 光スペクトラムテスト
- 高度な分散テスト

アプリケーション

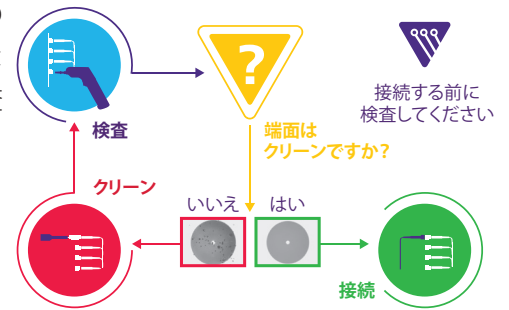
- 海底ケーブルの適合性評価とトラブルシューティング
- 高速 DWDM 地上伝送ネットワーク
- 4G/5G の無線アクセスネットワーク — バックホール、ミッドホール、フロントホール
- データセンター、データセンターキャンパス およびインターコネクト (DCI)
- FTTH/PON ネットワーク — 標準、非平衡/タップ型、およびインデックス型の任意のトポロジー
- DAA、リモート PHY、C-RAN用の DWDMアクセスネットワーク
- エンタープライズ/LAN



端面検査

光ネットワークのトラブルで最も多い原因はコネクタの汚れです。接続前の検査ワークフローでベストプラクティスを維持することが重要ですが、適切なツールがないと、問題の解決は困難で時間がかかります。コネクタ検査で検査ワークフローを完全自動化することで汚れの問題を排除

- オンボードのコネクタ検査で当て推量を排除
- バルクヘッドおよびパッチコードコネクタを検査
- オートセンター、自動テスト、自動保存機能による効率の最大化
- 業界の IEC 規格および仕様に対する適合認証試験



OTDR

スマートなアプリケーションで効率化を促進することによる作業の質の向上と、必要とされるトレーニングおよびサポートの低減します。高度でインテリジェントな機能を使用した問題検出および正確な測定でリンクを正確に特性評価することによるネットワーク基盤の堅牢性の保証します。

再テストなしでの結果ビューの即時切り替え、各ビューのデータの相互関連性に基づくシームレスかつ容易な分析を実現します。データセット1つ、3通りの結果ビュー (SmartLink マッパー、トレース、テーブル) によりテストアプリケーションの切り替えなしにユーザーのプロファイルおよび優先設定に対応。

SmartLink マッパー

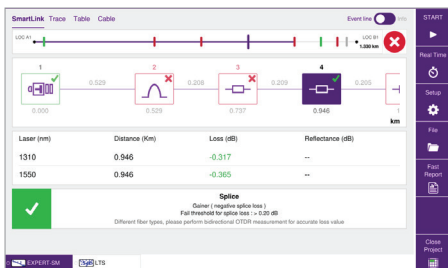
SLM は新しいトレース、古いトレースの任意の OTDR トレース内のパッシブ光要素を分析および識別し、ファイバーのリンクのマップ形式でそれら要素を簡単なアイコンで表示します。そして、ユーザー定義または IEC/TIA の標準的なしきい値に基づいて合格格情報をアイコンに追加し、スプライス、コネクタ、曲げ、スプリッター、マルチプレクサなどの光素子の種類名を明示的に表示します。

SmartTest

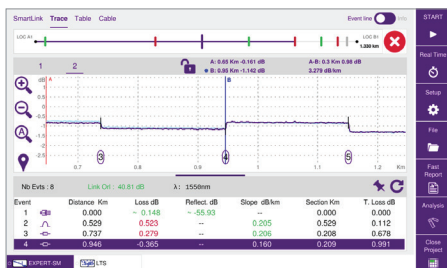
簡単かつ明瞭な形で操作手順を案内する OTDR アシスタントです。あらゆる種類の複雑な OTDR セットアップエラーがなくなります。クリティカルなテストパラメータは、VIAVI が事前に定義したテスト設定ファイル (SmartConfig)、またはマネージャーまたはネットワークエンジニアが設定した顧客固有の設定ファイルに含めることができます。適切な測定を行うために必要な設定を推測する時間を無駄にすることはありません。4 つの簡単なステップで、初期セットアップ、テスト、結果確認、およびレポート作成の手順が案内されます。

エキスパートモード

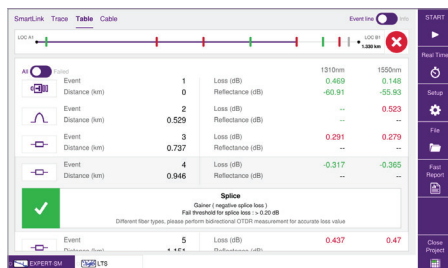
エキスパート OTDR は、さまざまな種類のファイバーのリンクやネットワークシナリオにおいて詳細な分析とより多くのテスト設定の管理を必要とするネットワーク新設時向けのモードです。



SmartLink マッパー表示



トレース表示



図表表示

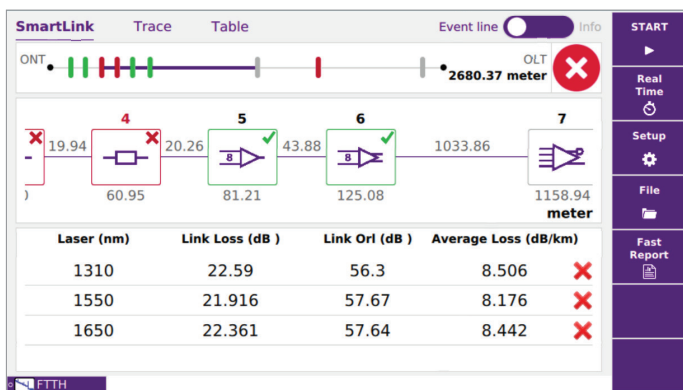
PON OTDR

FTTH/PON 用にカスタマイズした簡単なテスト、認証試験、およびレポート作成ソリューションを提供することで、End-to-End のネットワーク構築品質、設置の信頼性、および継続的な運用パフォーマンスを証明します。FTTH/PON ネットワーク展開の信頼性を高めることで構築、アクティベーション、および設置に要する時間を最小化。新しいファイバー作業員/コントラクターのトレーニング時間を短縮します。

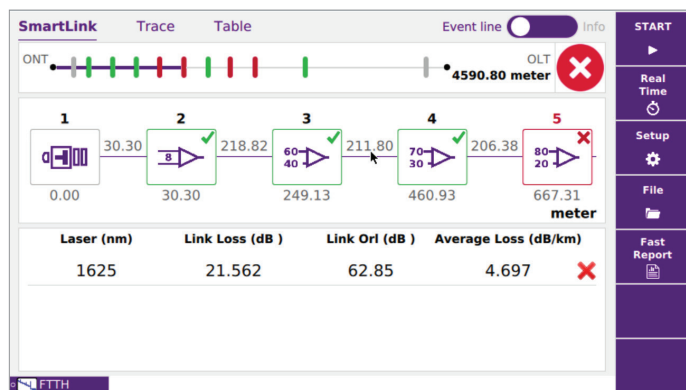
FTTH SmartLink マッパー (FTTH-SLM)

VIAVI PON OTDR は、標準的なスプリッターアーキテクチャ、カスケード接続のスプリッターアーキテクチャに加えて、非平衡/タップおよびインデックス型のスプリッターポートにも対応しており、従来型および新しい PON の End-to-End の認証試験を行うための業界で最も包括的なソリューションとなっています。

ソリューションが PON のスプリッターアーキテクチャに合わせて最適化されていない場合、テスト結果が誤って解釈され(コネクタ不良や深刻な曲げなど)、その結果、認証試験の失敗や不要な調査、作業のやり直しが発生する可能性があります、すべてに時間と費用がかかります。



カスケード接続のスプリッターネットワーク



非平衡/タップ型のスプリッターネットワーク

FiberComplete PRO™ — 双方向 IL、ORL および OTDR

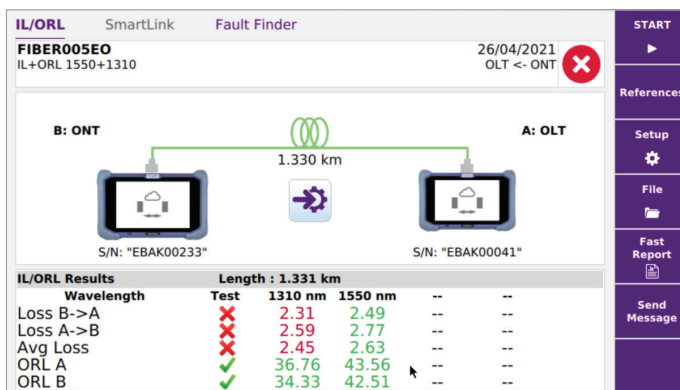
FiberComplete™ は、双方向の IL および ORL などの基本的なファイバーテストのすべてを初めて完全自動化した唯一のソリューションであり、単一のテストポートと1つのボタンプッシュアプリケーション(特許取得済み)を使用して OTDRテストを行うことができます。End-to-End のリンクおよび各種リンク要素のすべてをカバーする完全なファイバー認証試験と特性評価を1分ほどで提供。

リアルタイムの双方向 OTDR 分析 - TrueBIDIR

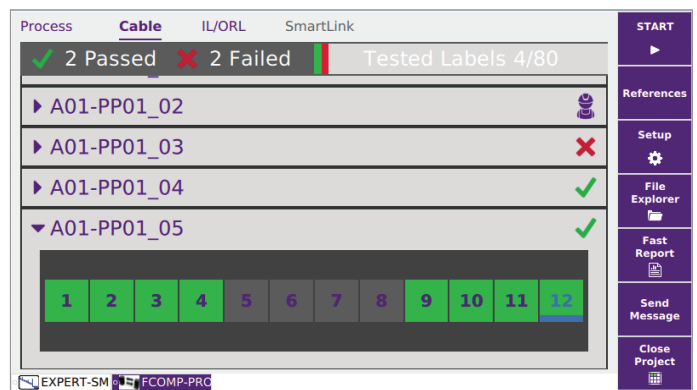
TrueBIDIR は、測定精度、イベント検出、位置確度を向上します。ゲイナーに対処し、現場にいる間に即座に是正措置を講じられるため、現場への再訪問を減らすことができます。FiberComplete PRO は、テストシーケンスごとに FUT データリンクを利用して双方向で得られた OTDR の結果のリアルタイム双方向分析を実行し、検出されたすべてのイベントの損失測定値を平均して、「真」のイベント損失を提供します。

マルチファイバーテスト - Cable-SLM

ファンアウトケーブルまたはネイティブ MPO コネクターを使用すると、統合された MPO スイッチを使用して、1 回のアクションで複数のファイバーを認証試験するためのテストシーケンスを準備できます。ファイバーケーブル管理では、一つの「ケーブル」ビューに結果が表示され、プロジェクトの進捗状況のリアルタイムの概要と各ファイバーテストの可否ステータスを把握することができます。



シンプレックスシングルファイバーテスト



Cable-SLM - マルチファイバー/MPO 用

DWDM OTDR

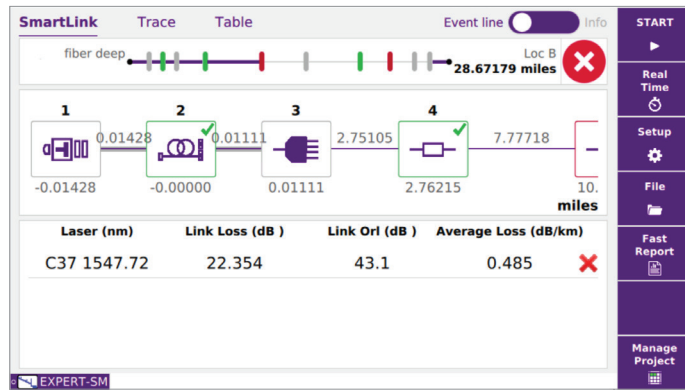
ブロードバンドサービスのアクセスネットワークで xWDM テクノロジーの採用が進むにつれて、作業には包括的で軽量の xWDM テストツールが必要になっています。C バンド DWDM OTDR ソリューションにより、ケーブル、ワイヤレス、および電気通信事業者は、DWDM およびハイブリッド CWDM/DWDM ネットワークに対するリンクの特性評価とトラブルシューティングに End-to-End で完全に対応することができます。

Wavescan®

MUX/DeMUX ポートの動作チャネルを 10 秒未満で自動的に識別し、リンクの OTDR テストを完了します。リンクのターンアップ前の検査/認証試験に最適です (ポート不良、ラベルの誤り、ラベル読み取り不可、ラベル欠落など)。SFP/SFP+ の取り付け誤りまたは設定誤りで生じるポート波長および波及効果、リンクのターンアップ時間への影響に関する推量を排除します。

SFP 保護

OTDR テストプロセスでの DWDM トランシーバーの損傷の確実な回避。これは、リンクのターンアップ前の検査/認証試験や、SPF トランシーバーがリンクの遠端に接続されている可能性があるアプリケーションのトラブルシューティングに最適です。偶発的な SFP の損傷、交換のコスト、およびターンアップ/修理の遅延のリスクを回避しながらライブテストすることが可能です。



DWDM リンクマッピング

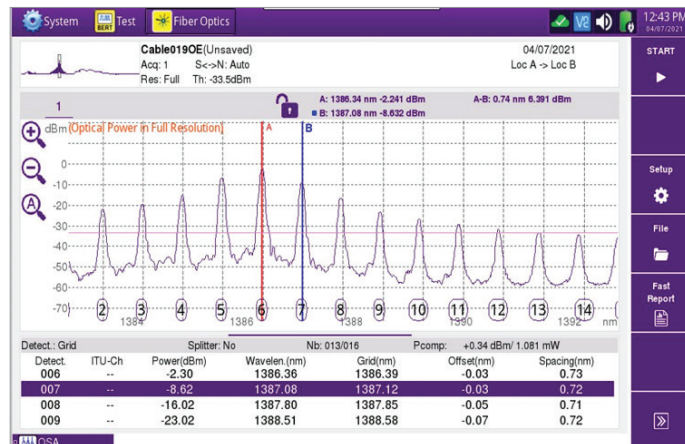
光スペクトラムテスト

高速 (100G/400G/800G)、データセンター相互接続、メトロ、アクセス、ケーブル分散アクセスアーキテクチャ (DAA) リモートPHY、C-RAN、および 5G アプリケーション向けの任意の新しい xWDM サービスをターンアップして検査するための WDM チャンネル検査およびスペクトラムテスト用の汎用的な光スペクトラムアナライザ (OSA) およびチャンネルチェッカー (OCC) モジュールです。

- 任意の CWDM および DWDM アプリケーションの全波長範囲のテスト
- SPF/SFP+ ベイ - フィールドでのプラグブル光学製品の調整および検査
- 高解像度 OSA - 複雑なナイキストフィルタリングの検査
- 光信号対雑音比 (OSNR)

WDM-Expert

パワー、波長、および OSNR を測定して各チャンネルの信号品質を評価するための簡単で迅速な手段。100/400G 以上の高速偏波多重 (Pol-Mux) 信号を含む光チャンネルのチャンネル識別とデータレート推定の自動化。



光スペクトラム解析

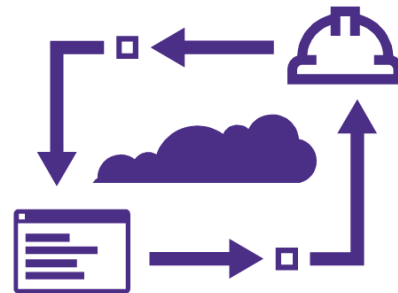
高度な分散テスト

ネットワーク事業者、ファイバー工事事業者、ダークファイバープロバイダーは、統合分散テストソリューションを利用することにより、100 または 400Gb/秒の伝送などの最新の高速テクノロジー用のファイバーリンクおよびネットワークのすべてで特性評価を行うことができます。

- 色分散 (CD)、偏光モード分散 (PMD)、減衰プロファイル (AP)を統合
- FiberCompetePRO を使用したファイバー特性評価テストの完全なスイート
- 中距離から超長距離テスト機能

従業員、タスク、テストデータの管理

テストプロセスオートメーション (TPA) を利用することで、初めてのテストでも必ずエキスパートレベルのテスト結果を出し、プロジェクトを終了することができます。TPA はワークフローを最適化し、エラーが発生しやすい手作業をなくしジョブの終了、チームの進捗状況の更新、ネットワークの健全性分析に関する即時データレポートを自動作成するクローズドループテストシステムです。ジョブを効率的に実施することで、確実に高品質のネットワーク構築、迅速なターンアップ/アクティベーションが可能になり、作業の可視性を高めることができます。



ファイバー作業の管理

- 手順ガイドと自動ジョブレポートを使用したジョブの計画と割り当て
- VIAVI Mobile Tech アプリを使用して、ジョブの詳細なテスト計画を作成、割り当てて、作業者の計測器に送信できます。
- 特定のジョブ作業指示書にテストを関連付け。
- 個々のテストタスクのシーケンスを一つのジョブにまとめる。
- 計測器の UI には、タスクの指示、進捗状況、および結果がステップバイステップで表示。
- ワークフロー監査の詳細によるテキスト結果の充実 - 位置データ、タイムスタンプ、マルチメディアの添付 (写真、署名のキャプチャ) など

